令和　 年 　月 　日

設備工事積算チェックシート

<<設備設計>>

委託業務の名称

受託者

管理技術者

電気設備設計担当

機械設備設計担当

設備工事積算チェックシート

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | チェック項目 |
| 総　合 |  |  |
| □ | 工事種目の脱落がないか。 |
| □ | 発注工事に伴う施工区分の確認をしたか。 |
| □ | 前回工事や次回工事と重複して，数量が計上されていないか。 |
| □ | 防水工法,断熱工法,積雪寒冷地対応策等が考慮され,計上されているか。 |
| □ | 安全対策を考慮した仮設内容(仮囲い,防護柵等)で計上されているか。 |
| □ | 図面訂正があった場合の確認をしたか。 |
| □ | 数量は,旭川市営繕工事積算基準に基づいて,適切に計上されているか。 |
| □ | 開口補強の必要な箇所の数量，寸法を建築設計者に指示したか。 |
| □ | 集計及び転記の確認をしたか。 |
| □ | 類似施設との工事種目，数量等の比較をしたか。 |
| □ | 補助工事に伴う積算基準の確認をしたか。 |
|  |  |
|  |  |

電気設備工事積算チェックシート　その１

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | チェック項目 |
| １．共通事項 |  |  |
|  (1)土工事 |  |  |
| 　根切り | □ | 根切数量は,設計どおり計上されているか。 |
|  | □ | 根切数量を重複して計上していないか。 |
|  | □ | 根切余幅は適切で,その計算は妥当か。 |
|  | □ | 舗装部分の切断幅及び根切深さの仕様と,その計算は妥当か。 |
|  | □ | 基礎,ハンドホール等の根切は,適切に計上されているか。 |
| 　埋め戻し | □ | 根切数量から埋設物等の体積を減じたか。 |
|  | □ | 埋戻し完了後における,仕上仕様(砂撒き,舗装等)と,その計上は妥当か。 |
| 残土処分 | □ | 根切数量から埋戻し及び盛り土の数量を減じたか。 |
|  | □ | 処分方法と,その計上は妥当か。 |
|  (2)ｺﾝｸﾘｰﾄ工事 |  |  |
| 　　ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎 | □ | コンクリート,型枠,モルタル塗等の仕様及び数量を確認したか。 |
|  (3)配管配線工事 |  |  |
| 　　配管配線 | □ | 工事種目別,階別,回路別,施工場所等に区分して計測,計算,集計されているか。 |
|  | □ | 幹線,分岐配線等に区分されているか。 |
| 　 | □ | 管類は,種別,寸法,施工方法(埋込,露出)等により区分されているか。 |
|  | □ | 電線類の規格,名称,寸法,条数別及び施工方法別に区分されているか。 |
|  | □ | 設計図の縮尺を確認したか。 |
|  | □ | 位置ボックス，ジョイントボックス等は,使用区分表により区分され，計上されているか。 |
|  | □ | プルボックスは,材質,寸法,仕上及び用途別に区分されているか。 |
|  | □ | 各種プレートの材質を確認したか。 |
|  | □ | ダクト，ラック及びバスダクトは,材質,寸法,仕上別,施工方法等により区分されているか。 |
| 　　付属品・予備品等 | □ | 機器類の付属品,予備品等は計上されているか。 |
|  | □ | 防火区画等の貫通処理箇所は，計上されているか。 |
|  (4)接地工事 |  |  |
| 　　設置 | □ | 種別,接地極の材質別等に区分し，箇所数が計上されているか。 |
| (5)はつり工事 |  |  |
|  | □ | はつり工事の数量は,国土交通省建築工事積算基準の解説に示される区分で計上されているか。 |
|  (6)撤去工事 |  |  |
| 　　撤去工事 | □ | 再使用するもの，しないものに区分されているか。 |
|  | □ | 配管配線，機器類等の数量は,新設工事の数量積算に準じて行ったか。 |
|  (7)搬　入　費 |  |  |
| 　　搬入費 | □ | 搬入費を必要とする機器を確認したか。 |
|  | □ | 機器別台数及び重量が整理されているか。 |

電気設備工事積算チェックシート　その２

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | チェック項目 |
| ２．電力設備 |  |  |
|  (1)電灯設備 |  |  |
| 　配線器具類 | □ | 定格電圧，電流，容量，極数，形状等により区分されているか。 |
| 　照明器具類 | □ | 形式及び記号別に区分し，計上されているか。 |
|  | □ | 埋込器具用の開口補強箇所数及び寸法を建築設計者に指示したか。 |
| 分電盤 | □ | キャビネットの形式，記号等を確認したか。 |
|  (2)動力設備 |  |  |
| 　制御盤 | □ | キャビネットの形式，記号等を確認したか。 |
|  | □ | 機械設備設計者と負荷設備容量，制御方法等について十分協議・検討し計上されているか。 |
| 手元開閉器 | □ | 形式，容量，複数等を確認し，計上されているか。 |
| 　機器への接続 | □ | 電動機等への接続材及び結線について，容量別に算出されているか。 |
|  (3)避雷設備 |  |  |
| 　　受雷部 | □ | 受雷部の材質と，その支持材は仕様とおり計上されているか。 |
| 　　避雷電線 | □ | 水平部分と垂直部分とを区別して計上されているか。 |
| 　　 | □ | 仕様とおりの支持間隔で支持材が計上されているか。 |
| 　　接地極 | □ | 接地極は，適切な位置及び間隔で計上されているか。 |
| 　　 | □ | 接地極埋設標が計上されているか。 |
| 　　接地用端子箱 | □ | 記号及び形式を確認したか。 |
| 　　保護管 | □ | 材質を確認したか。 |
|  (4)構内配電線 |  |  |
| 　電柱･支線柱･支柱 | □ | 材質，規格及び寸法別に区分し,計上されているか。 |
|  | □ | 装柱材料等は，名称，種別，規格及び寸法別に区分し,計上されているか。 |
| 　　架線・引込線 | □ | 規格，名称及び寸法別に区分し,計上されているか。 |
| 　　 | □ | 引込柱位置等の確認をしたか。 |
|  | □ | 高圧引込柱に地絡方向遮断付気中開閉器が計上されているか。 |
| 　　ケーブル布設 | □ | 保護材料の種別，規格，寸法等を確認し，計上されているか。 |
|  | □ | 種別,接地極の材質別等に区分し，箇所数が計上されているか。 |
|  | □ | 埋設標が計上されているか。 |
| (5)その他 |  |  |
| 　　ハンドホール | □ | 形式別及び寸法別に計上されているか。 |
| 　　外灯 | □ | 形式，基礎等が計上されているか。 |
| 　　 | □ | 接地の計上がされているか。 |

電気設備工事積算チェックシート　その３

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | チェック項目 |
| ３．通信設備 |  |  |
| (1)電話設備　 | □ | 種別及び寸法別に区分されているか。 |
| 　ﾌﾛｱﾀﾞｸﾄ | □ | ジャンクションボックス及び付属品等の材質,種別及び数量を確認し，計上されているか。 |
| 　本配線盤・端子盤類 | □ | 形式及び端子盤の種類,容量等を確認し,計上されているか。 |
| 交換機 | □ | 形式,容量,付加機能,中継方式等を確認し,計上されているか。 |
| 　　局線中継台 | □ | 形式,接続方法,付加機能等を確認し,計上されているか。 |
| 　電源装置 | □ | 形式,電源方式,蓄電池の種別,容量等を確認し，計上されているか。 |
| 　電話機 | □ | 形式,種別,台数等を確認し,計上されているか。 |
|  (2)電気時計･拡声設備 |  |  |
| 　親時計 | □ | 形式,精度,時刻修正機構の有無,回線数,電源種別等を確認したか。 |
| 　　増幅器 | □ | 形式,寸法,定格容量,性能等を確認し,計上されているか。 |
| 　　 | □ | 周辺機器が計上されているか。 |
| 　　 | □ | マイクロホンの種別,性能,スタンド形式,数量等が計上されているか。 |
| 　　子時計 | □ | 形式及び記号別に区分し,計上されているか。 |
| 　　スピーカー | □ | 形式及び記号別に区分し,計上されているか。 |
|  (3)表示･ｲﾝﾀｰﾎﾝ設備 |  |  |
| 　　表示器発信機 | □ | 形式及び記号別に区分し,計上されているか。 |
| 　　インターホン | □ | 形状,通話方式,電源方式,選曲数,選局機構等により区分し,計上されているか。 |
| 　　電源装置 | □ | 形式,定格,容量等により区分し,計上されているか。 |
|  (4)ﾃﾚﾋﾞ共同受信設備 |  |  |
| 　　アンテナ | □ | 種別,材質,素子数,支持方法等により区分し,計上されているか。 |
| 　　機器収納箱 | □ | 形式及び記号別に区分し,計上されているか。 |
|  (5)火災報知設備 |  |  |
| 　　受信機 | □ | 形状,級別,回線数等を確認し,計上されているか。 |
| 　　感知器 | □ | 形状,方式,種別等により区分し,計上されているか。 |
| 　　発信機 | □ | 形状及び級別により区分し,計上されているか。 |
| 　　その他機器 | □ | 電鈴の形状,寸法を確認し,計上されているか。 |
| 　　 | □ | 携帯用送受話機の数量が計上されているか。 |
| 　　連動制御器 | □ | 形状,級別,回線数等を区分し,計上されているか。 |
| 　　自動閉鎖装置 | □ | 形状,方式,種別等により区分し,計上されているか。 |
|  (6)ガス漏警報設備 |  |  |
| 　　受信機 | □ | 形状,寸法,回線数等を確認し,計上されているか。 |
| 　　検知器 | □ | 形状,方式,種別,CO検知の有無等により区分し,計上されているか。 |
|  (7)構内通信線路 |  |  |
| 　電柱･支線柱･支柱 | □ | 構内配電線と重複して計上していないか。 |
|  | □ | 材質,規格及び寸法別に区分し,計上されているか。 |
|  | □ | 装柱材料等は名称,種別,規格及び寸法別に区分し,計上されているか。 |
| 　　架線・引込線 | □ | 規格,名称及び寸法別に区分し,計上されているか。 |
|  | □ | 条数及び径間箇所数を確認し,計上されているか。 |
| 　　ケーブル布設 | □ | 保護材料の種別,規格,寸法等を確認し,計上されているか。 |
|  | □ | 埋設標が計上されているか。 |
|  (8)その他 |  |  |
| 　　ハンドホール | □ | 形式別及び寸法別に計上されているか。 |

電気設備工事積算チェックシート　その４

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | チェック項目 |
| ４．受変電･自家発電設備 |  |  |
|  (1)受変電設備 |  |  |
| 　高低圧配電盤類 | □ | 構造,盤形式,数量等を確認し,計上されているか。 |
| 　 | □ | 付属品・予備品等が計上されているか。 |
| 　変圧器ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ | □ | 構造,種別,定格容量等を確認し,計上されているか。 |
| 直流電源装置 | □ | 蓄電池種別,容量等を確認し,計上されているか。 |
|  (2)自家発電設備 |  |  |
| 交流発電機･原動機 | □ | 構造,形式,性能,定格容量等を確認し,計上されているか。 |
|  | □ | 寒冷地仕様等を確認し,計上されているか。 |
|  | □ | 基礎,燃料供給等の工事区分を確認し,計上されているか。 |
| 　配電盤 | □ | 構造,形式及び制御方式を確認し,計上されているか。 |
| 　　補機付属装置 | □ | 構造,形式,定格容量等を確認し,計上されているか。 |
|  (3)中央監視制御設備 |  |  |
| 　　監視操作装置 | □ | 構造,形式,容量,機能等を確認し,計上されているか。 |
| 　　 | □ | 信号授受に適切な装置が計上されているか。 |
| 　　 | □ | 関連周辺機器等を確認し,計上されているか。 |
| 　　 | □ | 付属品等の数量が計上されているか。 |
| 　　信号処理装置 | □ | 容量,インターフェイス装置等を確認し,計上されているか。 |
| 　　 | □ | 管理記録装置は，計上されているか。 |
| 　　電源装置 | □ | 構造,形式,電気方式等を確認し,計上されているか。 |
|  | □ | 停電時管制装置等の計上はされているか。 |

機械設備工事積算チェックシート　その１

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | チェック項目 |
| １．共通事項 |  |  |
|  (1)土工事 | □ | 根切りの深さ，余幅を確認したか。 |
|  | □ | 埋戻しは，根切数量から山砂，砂利敷，捨コンクリート埋設物などの体積を減じたか。 |
|  | □ | 残土の処分場所を確認したか。 |
|  (2)コンクリート基礎 | □ | 工事区分の確認 |
|  |  | 屋上階の基礎　　　□本工事　　　□別途工事 |
|  |  | 屋外の基礎　　　　□本工事　　　□別途工事 |
|  (3)配管工事 | □ | 工事種目別，施工場所ごとに区分して計測，計算をしたか。 |
|  | □ | 数量計算の計測数値，集計した数値及び積算内訳書の数量などに計算違いや見落としはないか。 |
|  | □ | 配管の保温工事及び塗装工事のように当該配管と同一数量とみなすものは，計算書で区分したか。 |
|  (4)保温工事 | □ | 特記仕様書及び共通仕様書により施工区分,施工種別及び保温材の読替などを確認したか。 |
|  | □ | 機器及び矩形ダクトの保温数量は,その機器及び矩形ダクトの表面積を計算したか。 |
|  | □ | 冷水,冷温水配管の吊りバンド部に防湿加工を施した木製又は合成樹脂製の支持受けを測定したか。 |
|  (5)塗装工事 | □ | 特記仕様書及び共通仕様書により塗装の施工区分及び各塗装箇所の塗料の種類及び塗り回数を確認したか。 |
|  | □ | 機器及びダクト,煙道,架台類の塗装数量は,塗装面の表面積を算出したか｡ただし,配管の保温外装部の塗装は,保温の記号と管の呼び径別に区分したか。 |
|  | □ | 雑塗装(文字,標識)を建物延面積により計上したか。 |
|  (6)はつり工事 | □ | はつり工事の数量は，数量積算基準に示すように区別して算出したか。 |
|  (7)スリーブ箱入れ工事 | □ | 箱入れ数量は，コンクリートの厚さ，貫通口の断面積別に区別して算出したか。 |
|  (8)撤去工事 | □ | 再使用するもの，しないものに区別したか。 |
|  (9)搬入費 | □ | 搬入費を必要とする機器の選別(100kg以上）を確認したか。 |
|  | □ | 機器別の台数，重量を整理したか。 |
|  | □ | 分割可能な機器は整理したか。 |
|  (10)総合調整費 | □ | 空気調和，温風暖房,温水暖房，換気，排煙設備の範囲に限定したか。 |
|  | □ | 配管延長は総延長としたか。 |
|  | □ | 給排水衛生設備の配管及び直暖の蒸気管,通気管,油管を誤って計上していないか。 |

機械設備工事積算チェックシート　その２

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | チェック項目 |
| ２．空気調和設備工事 |  |  |
|  (1)空気調和設備 |  |  |
| ①ボイラー及び |  |  |
| 付属機器設備 |  |  |
| ボイラー,温風暖房機 | □ | 設計図に示された機器仕様の記載事項を確認したか。 |
| ボイラー,給水ポンプ | □ | 共通仕様書に記載された付属品を確認したか。 |
| 冷温水ポンプ，油ポンプ |  |  |
| 鋼板製煙道 | □ | 板厚別に算出したか。 |
|  | □ | 伸縮継手　□あり　□なし |
| 熱交換機，還水ﾀﾝｸ | □ | 記号及び機器仕様の記載事項を確認したか。 |
| ﾍｯﾀﾞｰ,ｵｲﾙｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸ |  |  |
| 膨張タンク | □ | 膨張タンクの保温　□要　□不要 |
| 地下オイルタンク | □ | 設計図に示された機器仕様の記載事項を確認したか。 |
| ②冷凍機設備 |  |  |
| 冷凍機 | □ | 設計図の機器仕様の記載事項を確認したか。 |
| 冷却塔 | □ | 設計図の機器仕様の記載事項を確認したか。 |
| 冷却水ポンプ | □ | 「2･（1）･①」の当該事項に準じた確認をしたか。 |
| ③空気調和設備 |  |  |
| 空調機，送風機 | □ | 設計図の機器仕様の記載事項を確認したか。 |
| ファンコイルユニット | □ | ファンコイルユニットの定流量弁　　□不要　　□要 |
| 予備ろ材 | □ | □特記あり　□特記なし |
| ④ダクト設備 |  |  |
| ダクト | □ | 共通仕様書により，矩形ダクトの板厚と長辺の関係を確認したか。 |
|  | □ | 矩形ダクトの長さから表面積を計算する過程に誤りはないか。 |
|  | □ | スパイラルダクトの長さは,中心線の長さを計測したか。 |
| チャンバー | □ | 板厚の決定は,矩形ダクトの仕様に準じたか。 |
| 吹出口，吸込口 | □ | 設計図に示す記号を確認し,材質,記号,大きさ別に区別して算出したか。 |
| ガラリー類 | □ | 設計図に示す，記号，大きさ，材質を確認したか。　　　　□本工事　　□別途工事 |
| ダンパー類 | □ | 平面図，立面図及び詳細図に示された数量又は大きさなどに食い違いはないか。 |
| 風量測定口 | □ | 設計図または特記事項により，取付場所と数量を確認したか。 |
| たわみ継手 | □ | 空調機及び送風機とダクトとの接続箇所に取付ける数量を確認したか。 |
| 温度計 | □ | 　空調機廻りの還気ダクト，外気ダクト及び送気ダクトに取付ける温度計の数量を確認したか。 |

機械設備工事積算チェックシート　その３

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | チェック項目 |
| ⑤配管設備 |  |  |
| 弁類 | □ | ポンプの付属弁を数量に入れてないか。 |
| 特殊弁装置 | □ | 電動三方弁及び二方弁装置,電磁弁装置,減圧弁装置,温度調整弁装置，トラップ装置などは,主弁の呼称口径別の組数で算出したか。 |
| 伸紬継手 | □ | 形式,呼称口径別に算出したか。 |
|  | □ | 固定金物を確認したか。 |
| 防振継手 | □ | 空調用ポンプの吐出側及び吸込側に取付ける数量を確認したか｡(ただし,開放式の場合は吐出側のみの数量としたか｡) |
|  | □ | 冷凍機の冷却水管及び冷水管の出入口側に取付ける数量を確認したか。 |
| 可撓継手 | □ | 次の箇所に取付ける数量を確認したか。　(ｲ）冷却塔の冷却水管の出入口　(ﾛ）屋内オイルタンク及びオイルサービスタンクの給油管,返油管及び送油管の出入口側 |
| Ｙストレーナ | □ | 冷凍機入口側の冷却水及び冷却水管に取付ける数量を確認したか。 |
| 温度計 | □ | 次の箇所に取付ける数量を確認したか。　(ｲ）冷凍機の冷却水及び冷水管の出入口側　(ﾛ）空気調和機（ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄは除く）の冷温水管の出入口側　(ﾊ）冷温水ヘッダーの各返り管　(ﾆ）熱交換器の温水管の出入口側 |
| 圧力計 | □ | 上記温度計の(ｲ)，(ﾛ)，(ﾆ)の箇所に取り付ける数量を確認したか。 |
|  | □ | 圧力計，温度計，Ｙ形ストレーナーの数量に，特殊弁装置の付属ものを混入してないか。 |
| 瞬間流量計 | □ | 冷温水ヘッダーの各送り管に取付けたか。 |
|  | □ | 冷凍機の冷水及び冷却水配管の出口側に取付けたか。 |
| 保温工事 | □ | 冷水及び冷温水管に取付ける弁,ストレーナーで呼径65A以上のものは，区別して算出したか。  |
|  | □ |  冷水及び冷温水ポンプの付属弁類で上記と同じ条件のものも計上したか。 |
| ⑥自動制御設備 |  |  |
| 自動設備機器 | □ | 設計図示の記号，仕様書などを確認したか。 |
| 計装工事 | □ | 自動制御機器と同様に,各系統ごとに,数量を確認したか。 |
|  | □ | 他工事との施工区分を確認したか。 |
|  | □ | 自動制御計装図と機器表とに記号,数量などの食い違いはないか。 |

機械設備工事積算チェックシート　その４

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | チェック項目 |
|  (2)換気設備 |  |  |
| 送風機,換気扇類 | □ | 機器の仕様及び台数で,平面図と,機器表とに食違いはないか。 |
| ダクト，ダンバー類 | □ | ｢2･(1)･④｣のダクト設備に準じた確認をしたか。 |
| ガラリー類 | □ | 同　上 |
| 風量測定口 | □ | 同　上 |
| たわみ継手 | □ | 同　上 |
| 保温工事 | □ | 同　上 |
|  (3)排煙設備 |  |  |
| 排煙機 | □ | 機器の仕様及び台数で,平面図と,機器表とに食い違いはないか。 |
| ダクト | □ | 「2. (1)･④」のダクト設備に準じた確認をしたか。 |
| 排煙口 | □ | 形状　　　　□スリット形　　□スイング形開放装置　　□手動式　　　　□手動及び遠隔操作が可能なもの |
| ３．給排水衛生設備工事 |  |  |
|  (1)衛生設備 |  |  |
| 衛生器具,陶器類 | □ | 設計図に示された衛生器具の種類及び数量と,器具表に示されたものとに違いはないか。 |
| 大便器 | □ | □洗浄弁方式　　□タンク方式 |
| 小便器 | □ | □洗浄弁方式　　□タンク方式 |
| 　鏡 | □ | □本工事　　　　□別途工事 |
| (2)給水設備 | □ |  |
| ポンプ類 | □ | 設計図に示す機器仕様の記載事項を確認したか。 |
|  | □ | 付属品を確認したか。 |
| 受水タンク | □ | 設計図に示す記号を確認したか。 |
| 配管工事 | □ | 使用管種を確認したか。 |
| 保温工事 | □ | 給水管に取付ける弁,ストレーナーで呼径65A以上のものは,区別して算出したか。 |
|  | □ | 給水ポンプの付属弁類で上記と同じ条件のものも計上したか。 |
| 弁類 | □ | 機器の付属弁を数量に入れてないか。 |
| 防振継手 | □ | ポンプの呼び径65以上の吐出側及びFRP製タンクの排水,通気管以外の接続管に取り付ける数量の見落としはないか。 |
| 可撓継手 | □ | FRP製タンクを除く高置タンク,受水タンクの排水,通気管以外の接続管に取り付ける数量の見落としはないか。 |
| 水道本管引込工事 | □ | 二次側給水と区分して積算したか。 |
|  | □ | 大容量給水引込(プール等)の事前協議はしたか。 |
|  (3)排水設備 |  |  |
| 排水水中ﾓｰﾀｰﾎﾟﾝﾌﾞ | □ | 設計図に示す機器仕様の記載事項を確認したか。 |
| 配管工事 | □ | 使用管種を確認したか。 |
| 排水金物類 | □ | 設計図に示す記号を確認したか。 |
| 排水桝 | □ | 記号及びGLから管底までの深さ及び蓋の種類と大きさを確認したか。 |
| 下水道本管接続工事 | □ | 公設桝の事前協議はしたか。 |
|  (4)給湯設備 |  |  |
| 給湯用ボイラー | □ | 設計図に示す機器仕様の記載事項を確認したか。 |
| ガス湯沸器 | □ | 給排気筒　□本工事　□別途工事 |
| 配管工事 | □ | 使用管種を確認したか。 |

機械設備工事積算チェックシート　その５

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | チェック項目 |
|  (5)消火設備 |  |  |
| ①屋内消火栓設備 |  |  |
| 屋内消火栓用ﾎﾟﾝﾌ | □ | 機器仕様の記載事項を確認したか。 |
|  | □ | ポンプの付属品を確認したか。 |
|  | □ | 制御盤　　□要　　□不要 |
| 屋内消火栓箱 | □ | 設計図に示す記号別に集計したか。 |
| 配管工事 | □ | ポンプ廻りの配管要領図(標準図)と設計図面を比較して見落としはないか。 |
|  | □ | 使用管種を確認したか。 |
| ②連結送水管設備 |  |  |
| 送水口・放水口 | □ | 器具仕様･呼称などを確認したか。 |
| 放水用器具 | □ | 設計図に示す記号を確認したか。 |
| 格納箱 | □ | 箱内に格納する付属品を確認したか。 |
| 配管工事 | □ | 使用管種を確認したか。 　□圧力配管用炭素鋼管　　　□その他 |
| 　③屋外消火栓設備 |  |  |
| 屋外消火栓箱 | □ | 屋内消火栓箱に準じた確認をしたか。 |
| 屋外消火栓 | □ | 地上式の場合,形式,材質を確認したか。 |
| 配管工事 | □ | 使用管種を確認したか。 |
| ④スプリンクラー設備 |  |  |
| ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ用ポンプ | □ | 機器仕様の記載事項を確認したか。 |
| 弁類 | □ | ＪＩＳ ０．１MPaを確認したか。 |
| 配管工事 | □ | ポンプ付属弁を数量に入れていないか。 |
|  | □ | 使用管種を確認したか。 |
| 　⑤ハロゲン化物消火設備 |  |  |
| 貯蔵容器 | □ | 容量(㍑.Kg ),本数を確認したか。 |
| 同上容器取付枠 | □ | 容器の本数別に区分したか。 |
| 噴射ヘッド | □ | 形式,口径別に区別したか。 |
| 配管工事 | □ | 圧力配管用炭素鋼鋼管スケジュール40と記載し,呼ひ径別の設計数量で算出したか。 |
|  (6)ガス設備 |  |  |
| 　①都市ガス設備 |  |  |
| 配管工事 | □ | 使用管種を確認したか。 |
| ガスメーター | □ | メーターの呼称（容量）を確認したか。 |
| 本管負担工事 | □ | □あり　　□なし |
| 　②液化石油ガス設備 |  |  |
| 配管工事 | □ | 使用管種を確認したか。 |
| ガスボンベ | □ | ガスボンベ置場，床等　　　　□本工事　　□別途工事 |
| ガスメーター | □ | □マイコンメーター |
|  | □ | ガス漏れ警報機との運動　　　□する　　　□しない |